

2024年8月7日

各 位

会 社 名 サカタインクス株式会社
 代表者名 代表取締役 社長執行役員 上野 吉昭
 (コード番号 4633 東証プライム市場)
 問合せ先 コーポレートコミュニケーション部長 片山 耕
 電話番号 03 - 5689 - 6601

連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2024年2月14日に公表しました2024年12月期第2四半期(中間期)の連結業績予想を下記の通り修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 2024年12月期第2四半期(中間期)連結業績予想数値の修正(2024年1月1日～2024年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A) (2024年2月14日)	百万円 117,000	百万円 4,900	百万円 5,600	百万円 3,600	円 銭 71.84
今回修正予想(B)	121,084	7,253	7,146	5,318	106.26
増減額(B-A)	4,084	2,353	1,546	1,718	
増減率(%)	3.5	48.0	27.6	47.7	
(ご参考)前期実績 (2023年12月期 中間期)※	110,181	5,075	6,427	3,812	76.20

※ 2024年12月期中間連結会計期間より、「営業外収益 その他」に計上していた「受取ロイヤリティ」を「売上高」に含めて計上することに変更したため、2023年12月期中間期についても当該会計方針の変更を反映した遡及適用後の数値を記載しております。

2. 修正の理由

売上高につきましては、販売価格は想定に比べて下回りましたが、海外において販売が堅調に推移したことに加え、為替が円安で推移したことなどから当初予想を上回りました。利益につきましては、海外において主要原材料の価格が安定的に推移するなかで収益性の改善が続いたことなどから、営業利益は当初予想を大幅に上回りました。また、経常利益におきましては持分法投資損益が想定を下回ったことに加え、為替差損を計上した影響がありましたが、中国における連結子会社の持分譲渡に伴い特別利益を計上したことなどから親会社株主に帰属する中間純利益は当初予想を大幅に上回りました。

なお、通期の業績予想につきましては、現在精査中であります。

(注) 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上